

発行日： 令和3年 3月16日

発行者： 今村証券株式会社

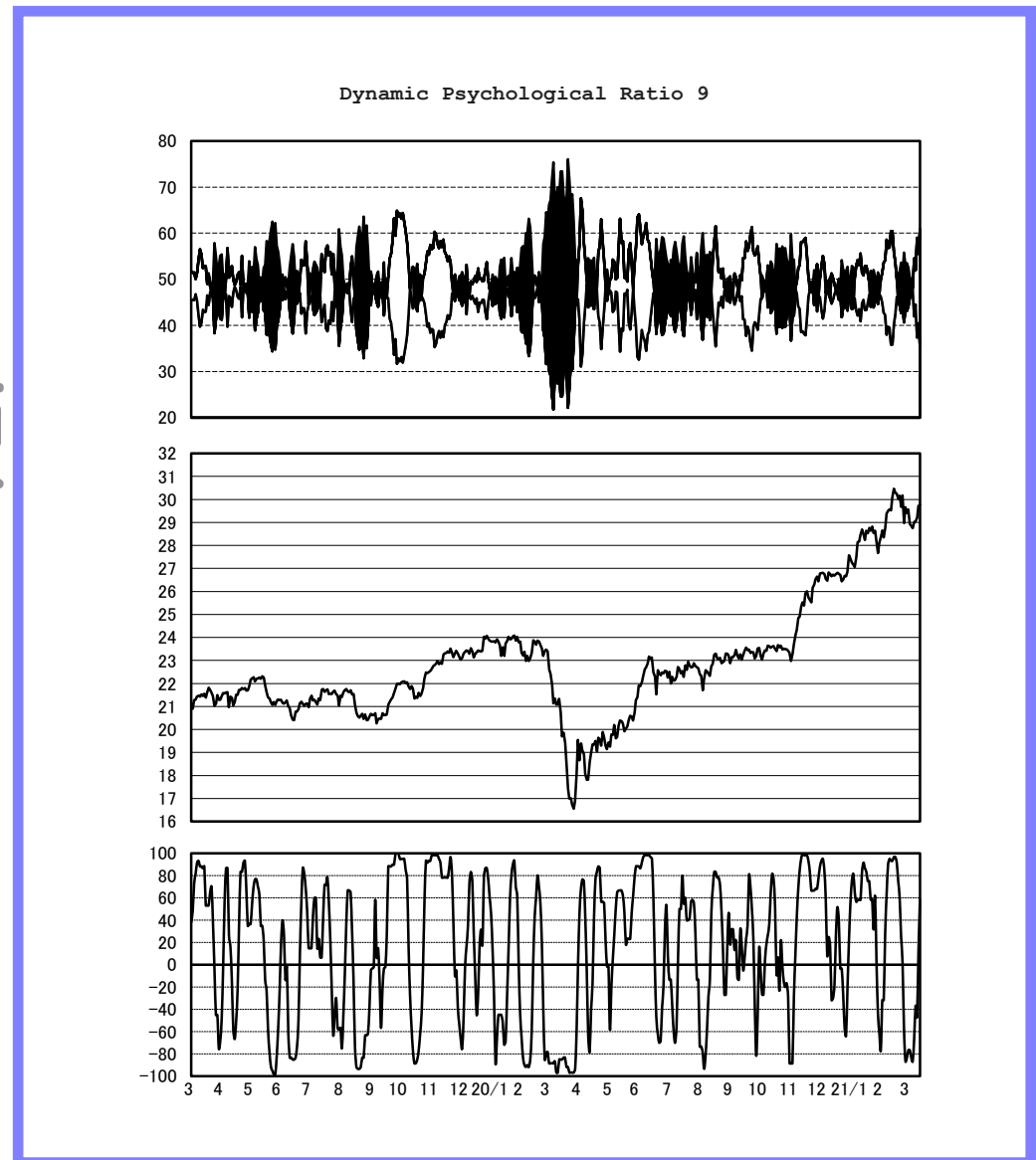
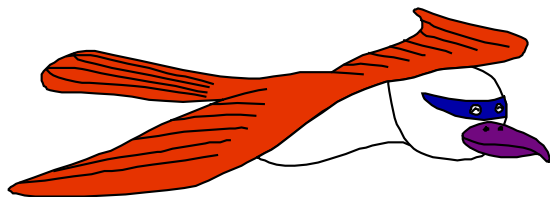
金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号

日本証券業協会加入

制作責任者： 営業推進部 調査課

情報シャトル特急便

第683号



上図は騰落銘柄数をベースとした独自のもので、黒の幅が拡大→買い場、白の幅が拡大→売り場

中図は日経平均株価

下図はRCI（9日ベース）で、 -80%ラインを上につき抜け→買い場

80%ラインを下につき抜け→売り場

大 所 高 所

今月の第2週末にかけ米国相場は長期金利の上昇をきっかけとした下げから持ち直し、ダウは続伸しつつ連日の最高値を更新した。11日には追加経済対策が決まり、5月1日までに全ての成人にワクチン接種できる体制を作ると表明。バイデン大統領の指導力に期待する声は少ないながらも、景気回復と経済再開の加速が進むと感じるには十分の内容だった。

一方、日本では政府の接待問題が相次ぎ、都内の新型コロナの感染拡大が思ったように終息し切れない状態が続いている。菅内閣は16日でちょうど半年となるが、看板政策が不祥事とコロナに隠れてしまい、表に出てこないのが痛い。

それでも日経平均株価は3万円台を超えた後の大幅な下落調整から、じわじわと値を戻しつつある。G7の中では一番遅かったワクチン接種だが、来月の中旬からいよいよ高齢者の接種が開始される。14日に行われた日米豪印での首脳会合では、名指しこそはしなかったが中国の東シナ海洋進出への牽制を行い、4月前半のバイデン大統領との初会談も決めたことで新内閣の巻き返しを外交で図っている。国内企業では1日にヤフー親会社のZホールディングスとLINEが経営統合したことにより、合計売上高は楽天に迫ることとなり、12日には楽天と郵政が資本業務提携を発表し、株価が大きく動いている。国内株式市場の話題は意外に多く、いまだ米長期金利を気にする動きはあるものの日経平均株価は上昇基調を引き続き保っていると言えそうだ。
(nil admirari)

た だ ー 筋

日経平均株価は2月16日の高値から3月5日の安値まで約2400円の下落となった。この下落要因として、多くの市場関係者やメディアは市場金利の上昇が主因であるとの見方だが、実は、3月年度末とメジャーS Qという特殊要因によって需給バランスが崩れやすかったことが背景にあったと思われる。現に、法人の持ち合い解消、ヘッジファンドのポジション調整、短期狙いの個人投資家の利益確定売り、そしてGPIFのような巨大年金によるリバランスなどが頻繁に実行されていた。要するに金利上昇は売るための格好の理由づけだったと捉えたい。また、物色面においては、半導体中心のグロース株が売られ、安値に放置されていた海運、鉄鋼といったバリュー株が買われるなどの動きが活発化し、これまでのコロナショックで形成された極端な二極化相場の修正が進められていた。

このような状況下、米国での追加経済対策の成立やワクチン接種への期待感から投資マインドは良好状態が続いている、当面は下げの半値戻し水準（2万9500円中心）での循環物色が続くものと思われるが、再度3万円の大台も視野に入ってきている。ダウ指数（米国）、DAX指数（ドイツ）など先進国の株価が新高値を更新中である中、日経平均の上値追いを期待したいものである。

個別銘柄では、日本化学工業（4092）、黒崎播磨（5352）、野村マイクロ・サイエンス（6254）を注目している。
（三感王）

参 見 屋 だ 当

バイデン米政権が打ち出した追加経済対策が成立し、経済見通しが改善傾向にある中、日経平均株価は底堅く推移することが予想されます。

2月以降はリフレ期待と長期金利の上昇を契機に、景気敏感株を中心とするバリュー株（割安株）の優勢とグロース株（成長株）の劣勢が目立ちました。アメリカで新型コロナ感染状況が落ち着いてきたことも、経済活動の正常化、企業業績回復の期待を高め、バリュー株が優位となる要因となりました。

しかし、グロース株が中心となる米ナスダック総合株価指数は2月高値から10%超下落した後、下値を固める動きとなっており調整は一巡したと考えています。市場ではコロナが落ち着いても、DX（デジタルトランスフォーメーション（デジタル変革））の需要拡大は変わらず、IT業界の収益は成長し続けるとみられています。ナスダックの戻りが本格化すれば、値がさ、グロース株のウエイトが高い、日経平均株価の戻りに寄与すると考えます。

（ライ・パチ）

老練の視座

【It's a Sony】

カセットテープを使うウォークマンが「お洒落」だった 30 年程前、初めて自分でおすすめてお客様に買っていただいた株式がソニー (6758) だった。100 株を当時の株価 8,000 円で購入していただいた翌日、「イラクがクウェートに侵攻」というニュースが伝わり、湾岸戦争勃発とともに株価は暴落した。それから 10 年後、IT バブルが生まれた。「お洒落」なノート型パソコン VAI0 を発売し、ヒットさせたソニーの株価は上場来高値を更新し、株式は 2 分割された。だがその翌年に IT バブルは崩壊。「ソニーショック」という言葉が登場したほどの大暴落となった。

それから約 20 年後の今、新たなカテゴリーを与えられ、三度、株価は上昇過程にいる。再び上場来高値を更新しようとしているのだろう。洗練されたデザインや美しいフォルムは過去ずっとソニー製品の持ち味だった。今のソニーには久しぶりに「お洒落」を感じている。「ブランド価値は株価に織り込まれる」と言われているのだから、16,950 円の高値を超える日は、遠くないと思っている。

(DINKS)

きらきら星

2月中旬以降の米金利上昇をきっかけに調整局面に入っていた日本の株式市場は、29,000円割れあたりから割安株が牽引し、又米国株式市場の堅調を受けハイテク株中心に下値を固める展開となってきました。決算発表一巡後の動きはさえないものの、個別物色に関しては、昨日の楽天ストップ高のように好材料にはすぐに買い反応しており、市場エネルギーは十分ありと感じます。昨年大きく儲けた人は銘柄を決めて持ち続けた人であり、ソニーやソフトバンクグループが倍になるような大相場でも持ち続けた人が大勝ちしました。海外株の動向や東京五輪の問題など波乱要素は存在しておりますが、余剰資金が滞留し、欧米株からみた割安感、コロナのダメージが他国より小さく、ワクチン接種後の経済回復が期待となればふるい落とされずに確りついていきたいものです。日経平均の3万円台がスタートのつもりで今から買っても遅くない上昇持続可能性がありそうな3銘柄に注目です。

- ・NEC (6701)…脱ファーウェイ、海外からの受注好調、ITバブル時の高値からまだ5分の1
- ・オリンパス (7733)…イスラエルの医療メーカー買収、構造改革進展中
- ・DMG森精機 (6141)…工作機械受注好調、中国向け急回復、自動車向けも復調へ (WR452)

アナログの俯瞰

今年は相場の干支占いにとかくこだわってしまう自分がいる。「丑は躓き」。相場下落ともとれるし、上昇相場の一服ともとれる。解釈はいろいろあれど、自分は後者であると妙な確信を持っている。急速な戻り相場をグロース株（ハイテク株中心）が牽引したのだが、走り過ぎたところで米国金利上昇から流れは一転、主役はバリュー株（景気敏感株）へと変わり始めた。グロース株の調整は遅かれ早かれ有り得ることだったが、米国の景気回復による金利上昇が、タイミング良く主役交代させるきっかけとなった。今後も一喜一憂相場は続き、尚且つ、上下のブレの激しい展開を垣間見ることになるそうだ。

ただ、年の暮れの相場を想像するに、結果として風の状態という可能性がある。「丑は躓き」の真の意味を、今年の相場は教えてくれそうだ。とは言え、ここまでは『ウサギと亀』のような相場展開、駆け足で慌ただしく、そしてのんびりと地道に。となると、最後に笑うのは…。

いわゆる中央突破で野村ホールディングス（8604）、大型プラント受注の千代田化工建設（6366）、今月末の1:2株式分割後にも期待！貴金属リサイクルのアサヒホールディングス（5857）。

（年越、引越、そばのコラボに現実味！？日毎増してく寂寥感頻りクレイジーゲーマー）

アナリストによる北陸企業便り

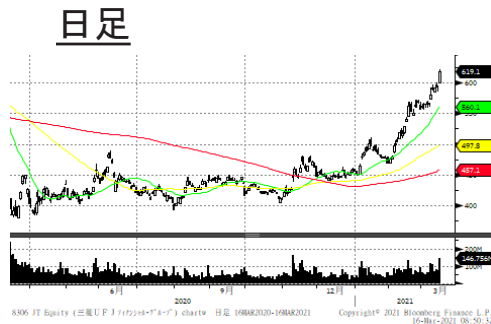
(近藤浩之)

< 8066 三谷商事 >

2021 年 3 月期第 3 四半期累計期間は減収増益。減収の主因は、石油製品販売価格の下落と、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う悪影響であり、昨春、ガソリンスタンドや高速道路サービスエリア、建設関連、ゴンドラといった多くの事業が低調となった。一方で営業利益は、ガソリンスタンド事業がカバーした。石油元売りの再編で価格競争が緩和され、かつ原油価格の下落によって安く仕入れることができたために、販売量が減少しても増益を確保できた。買収した子会社の利益が加算されたことや、北陸新幹線延伸工事向け建設関連需要の増加なども寄与した。今村証券では通期売上高は前期比▲5%程・会社予想比+4%の3900億円、営業利益は前期並み・会社予想比+7%程の190億円を予想する。

課題は、「脱炭素」への対応だ。これまでのガソリンスタンド事業の戦略は、ガソリンスタンドを新設し販売量を増やすというものであった。しかし、電気自動車の普及、ガソリン需要減少の速度が早まりそうで、戦略の練り直しを迫られている。風力発電に関しては、茨城県と青森県で開設以降、新規投資は見送られている。そうしたなかで業績拡大には買収が欠かせないが、2018～2020年に実施・開示された買収は年間1件にとどまっており、より積極的な姿勢が求められる。こうした課題への取り組みが急がれる。

” 僧 中 線 罫 ”



出所：ブルームバーグ

週明けの日経平均株価は5日連騰となり29,766円で引け、先週末の3月SQ (29,282.41円) 通過で調整完了か。米国の長期金利急騰で、これまで相場を牽引してきた成長株の上昇が止まり、代わって株価浮上が鮮明になってきたのは、出遅れていた大型景気敏感株だ。コロナワクチンの接種進展で、実体経済の正常化を先取り。バリュー株の快進撃は始まったばかりだ。

8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ

株価は2018年高値894.4円から2年間下げ続け、2020年のコロナショックで380円まで売られるも、足元はコロナショック前の高値だった2019年12月の603円を上抜いた。昨日終値(619.1円)は昨年末(456.1円)から約35%値上がりしている。米金利上昇がメリットになる事や、2021年は世界経済が大きく持ち直すと見られていることから、銀行株の復活が期待される。予想配当利回り、PBRは非常に魅力的だ。

三菱UFJの投資指標

株価	(21/3/15)	619.1 円
年間配当金	(21/3期予)	25.00 円
予想配当利回り		4.0 %
BPS	(20/3期実績)	1,245.33 円
PBR		0.5 倍

出所：三菱UFJフィナンシャル・グループ

(ICHI)

* 情報シャトル特急便は、投資家の参考となる情報提供を目的としておりますが、投資にあたってはご自身の判断でなされるようお願いいたします。

国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大 1.201750% (税込) (1.201750% に相当する金額が 2,612 円未満の場合は 2,612 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。株式は、株価の変動により損失が生じるおそれがあります。

非上場債券を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動などにより価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。

投資信託にご投資いただくお客さまには、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費等をご負担いただきます。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資 1 単位当りの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。

外国株式・外国債券等は、為替相場の変動などにより損失が生じるおそれがあります。

商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、その商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読みください。